

平成17年(ワ)第87号、平成18年(ワ)第16号

遺伝子組換え稲の作付け禁止等請求事件

原告 山田稔 外22名

被告 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

### 証拠説明書 (11)

平成18年12月5日

新潟地方裁判所高田支部 御中

被告訴訟代理人弁護士 畑 中 鐵 丸

同 弁護士 山 岸 純



号証	標目	原本・写 の別	作成年 月日	作成者	立証趣旨	備考
乙 36 の 1	日経バイオ 最新用語辞 典 第四版	写し	平成7年 6月30 日	日経BP社	免疫測定法は、一般に、「ウエスタン・プロット法」あるいは「イムノプロット法」と呼ばれるものであり、植物学分野に限らず、科学分野一般における基礎的実験方法として、全世界的に認められている実験方法であること。	
乙 36 の 2	分子細胞生 物学辞典	写し	平成9年 3月10 日	株式会社東 京化学同人	同上	
乙 36	生化学辞典 第3版	写し	平成10 年10月	同上	同上	

の 3			8日			
乙 36 の 4	生物学辞典 第4版	写し	平成8年 3月21 日	株式会社岩 波書店	同上	
乙 37 の 1	遺伝子組換えイネ栽培 実験における第1種使 用規定承認 組換え作物 栽培実験指 針にもとづ く交雑に関 するモニタ リングの結 果について	写し	平成18 年12月 1日	被告 中央農業総 合研究セン ター 北陸研究セ ンター	今般、被告北陸研究センター が実施した遺伝子組換えイネ とモニタリング用イネとの交 雑調査において調査した粒数 190,400粒のうち、遺 伝子組換えイネとモニタリン グ用イネとの間で交雑した粒 数がゼロであったこと、およ び、当該結果等について被告 が情報公開を行っているこ と。	
乙 37 の 2	「栽培 GM イ ネ周囲と交 雑なし」と 題する記事	写し	平成18 年12月 2日	朝日新聞 (新潟版)	同上	
乙 37 の 3	「GM 水稻花 粉周囲と交 雑なし」と題 する記事	写し	平成18 年12月 2日	日本農業新 聞 (信越版)	同上	
乙 37 の 4	「農水省指 針でも GM 稲 の交雑なし」と 題する記事	写し	平成18 年12月 2日	新潟日報	同上	
乙 37 の 5	「『GM イネと の交雑なし』 と発表」と題 する記事	写し	平成18 年12月 2日	上越タイム ス	同上	

乙 37 の 6	「GM 稲とも ち米『交雑認 められず』」 と題する記 事	写し	平成 18 年 12 月 4 日	読売新聞 (新潟版)	同上	
-------------------	---	----	------------------------	---------------	----	--